



春日若宮おん祭 (12月17日)

## 12月定例会

# 平成30年度一般会計補正予算を可決

本市議会は、平成30年12月定例会を11月29日から12月18日までの20日間の会期で開きました。

この定例会では、市長から提出された案件のうち、幼稚園、小中学校の空調設備整備を含む30年度一般会計補正予算等の補正予算7件と行政組織条例の一部改正等の条例の制定・改廃の議案11件、公の施設の指定管理者の指定の議案20件、合わせて38議案について、いずれも原案どおり可決しました。また、固定資産評価員の選任1件、人権擁護委員の候補者の推薦1件の合計2件に同意し、1件の市長専決処分を承認するとともに、市長専決処分22件の報告を受けました。

議員より職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正が提案され、慎重に審査するために所管の総務委員会に付託し、閉会中に審査することとしました。

また、請願第5号の審査を行うため、市民環境委員会を開催しました。

### 目次

- ◆そこが知りたい  
質疑・一般質問 …… 2～6
- ◆市民環境委員会 …… 6
- ◆補正予算等特別委員会 …… 6
- ◆議会の情報 …… 7
- ◆市議会の一年 …… 7
- ◆議案等の議決結果と  
その賛否 …… 8



12月4日・5日・6日の本会議では、25人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。  
 以下は、質問と答弁の要旨です。（発言順）

代表質問

クリーンセンター建設計画  
 広域化の意義は

自民党 八尾 俊宏

**問** 新クリーンセンターの建設について、これまで市長は、市がリーダーシップを発揮して広域化の検討を進めると表明しているが、最大の課題である建設候補地については、現在どう検討しているのか。

**市長** 広域化での施設建設は、収集運搬コストなどを考慮した利便性、アクセス性が重要で、地勢や人口、排出ごみ量などを勘案すると、市内での選定が求められると考える。広域化によるスケールメリットで大幅なコスト削減や運営の効率化などメリットは数多い。建設費では事業費ベースで2割、一般財源の実質負担額で4割程度の縮減を見込めるなど有効な手段と考える。

持続可能な都市へ向け  
 都市機能の在り方も検討を

公明党 宮池 明

**問** 市は、策定中の立地適正化計画においてコンパクトな

まちづくりと地域交通の再編が連携したまちづくりを進めるとしている。公共交通の在り方とともに都市機能の在り方を考え直すことが求められると考えるが、見解は。

**市長** 市民の生活等を支えるべく長期的に持続可能なまちづくりを進めるためには立地適正化計画だけでなく、地域公共交通政策、医療、福祉、都市農業、公共施設再編、防災など様々な分野の取り組みの整合性、相乗効果を図ることが重要と考える。

つなぎ目のないサービス  
 在宅介護と在宅医療  
 改革新公会 樋口清二郎

**問** 介護と医療の制度のはざままで、在宅介護・医療の間につなぎ目が生じている。市としてそれをどう認識し、サービスを展開していくのか。

**市長** 医療と介護の連携したつなぎ目のないサービスの展開が重要と認識している。平成27年度から課題解決に向けた多職種連携会議を開催し、30年4月から現場の専門職の

相談窓口として市在宅医療・介護連携支援センターを開設して、地域で安心して生活が出来るよう取り組んでいる。

**問** 今後のサービス展開としては、地域包括支援センターとの連携が重要と考えており、介護予防・日常生活支援総合事業等を活用し、地域での支え合いについて検討したい。

児童相談所設置に向けて  
 福祉職の採用計画は  
 日本共産党 白川健太郎

**問** 児童相談所の業務は、子どもたちの命や権利を守るための最前線となる職場であり、多様な相談への的確な対応や虐待現場での保護など職員の負担も大きい。県から業務移管される平成33年までに、体制の構築が求められるが、児童相談所の設置に必要な福祉職の人数と採用計画は。

**市長** 児童相談所の設置に当たり必要な職員として31年4月までの3カ年で、30名を採用する計画を立てている。また、施設整備、人員体制、支援体制等、市としての児童相談所の在り方を計画する必要があることから、児童相談所設置計画を策定し、開設に向けて計画的に取り組んでい

積水工場跡地の活用  
 スケジュールと市の提案は  
 新風政和会 塚本 勝

**問** 平城宮跡南側の積水工場跡地の活用について、県、市、積水の3者の包括連携協定によりどのようなスケジュールで進められるのか、市はどのような提案をするのか。



積水工場跡地（三条大路四丁目）

**市長** 3者でコンセプトや機能配置について協議している。工場の解体が完了後、速やかに事業に取り組めるよう早期に素案をまとめた。市の提案としては、主要なアクセス道路に挟まれた利便

きたい。

性の高さを生かしたゲートウエー機能、文化的、歴史的価値を生かした商業機能の誘致について検討している。

国内外から多くの観光客が訪れる、周辺の景観に調和した世界遺産平城宮跡を世界に発信出来る計画としたい。

### 個人質問

#### 平松地区のまちづくり子どもセンターの構想は

自民党 森田 一成

**問** 市は、平松周辺地域で仮称子どもセンターの設置を検討している。

この施設は市にとって非常に重要な施設であり、その規模を思い切って拡大する考えはないか。

**市長** 仮称子どもセンターは、地域子育て支援センター、児童相談所等の複合施設で、市内の全ての子どもや家庭をワンストップで支援するものである。施設の複合化により共有空間を効率的に整備出来、施設間の連携も可能となる。

有識者会議での意見も踏まえ、将来を見据えた施設規模を確保したいと考える。今後、様々な機能に求められる必要面積や動線計画を十

分に踏まえて精査したい。

#### 県市連携が重要では 富雄丸山古墳周辺の活性化

公明党 伊藤 剛

**問** 富雄丸山古墳周辺について、県市連携が重要な課題と考えるが、市長の考えは。

**市長** 県が計画している道の駅は県北部の新たなゲートウエーとして期待されている。道の駅を起点に西ノ京から大和郡山エリアにもつながる周遊観光ルートも考えられる。周遊の拠点として道の駅が利用出来れば、文化財をランドマークとしたユニークな道の駅として多くの観光客誘致につながるかと期待している。

道の駅の整備は県が主体であるが、富雄丸山古墳周辺の整備など、市が担う部分も想定されることから、県や地元とも連携しながら、今後も引き続き西部地域の活性化を目指したい。

#### 地域の希望に沿った 地域自治協議会の拠点を 改革新政会 階戸 幸一

改革新政会 階戸 幸一

**問** 地域自治協議会の拠点施設整備については、庁内検討委員会に拠点整備検討部会を

設置して検討されているが、各地域が拠点としての使用を要望した公の施設の使用についての市の対応は。

**市民活動部長** 拠点整備検討部会を庁内検討委員会の中に立ち上げ、関係各課が集まって、施設の使用について協議しており、それを各地域に伝えていくのが現状である。

地域が希望する施設が、使用出来ない場合があるため、今後はその部分についても検討、協議したい。地域自治協議会検討委員会からの意見を受けて、全体として課題や条件を説明する機会を設けた。

#### 第二阪奈の環境調査 引き続き県が行うべき

日本共産党 山本 直子

**問** 県は平成31年3月に道路公社を解散し、大阪府と共同管理している第二阪奈有料道路を31年4月にNEXCO西日本に移管することを発表した。開業時に地元住民と交わった協定書等に基づいて行っている環境調査を、移管先は行わないため、県から市に引き継ぐよう要請があったと聞

くが、県道路公社との話し合いの経過は。  
**健康医療部長** 県道路公社よ

り、環境調査引き継ぎの要望はあったが、公社と地元自治会の協定に基づき行われていることから、公社と地元自治会で協議するべきと回答した。市としては引き続き中核市としての環境監視業務を適切に実施するよう努めたい。



県の環境調査が行われなくなる第二阪奈道路

#### 下水道料金改定 必要な繰り入れの実施を

新風政和会 林 政行

**問** 下水道事業では、雨水公費・汚水私費の原則とともに汚水処理でも一部公費負担しているが、繰り入れの削減や全廃をすると、この原則が崩れ、下水道料金が反映されて市民が公費部分を負担する形にな

るが、企業局の考えは。  
**企業局長** 下水道事業においては、雨水は公費、汚水は私費の原則があるが、汚水処理の一部については、公費負担というルールもある。

これは汚水処理が生活環境改善や公衆衛生改善などの公共的役割を果たしているからであり、企業局としては、繰り入れを継続してもらいたい。が、一般会計も現下の財政上厳しいので、一般会計側とよく話し合いたい。

#### 市内全域のポイ捨て禁止で 美しいまちづくりを

無所属 大西 淳文

**問** 空き缶やペットボトルなどのポイ捨てされるごみが多くなかなくならない。市のポイ捨て防止に関する条例を見ると重点地域内のポイ捨てを禁止しているが、市内全域に拡大し、飼い犬のフンの放置など禁止項目も加えた見直しにより、国際文化観光都市としてふさわしい美しいまちづくりをする必要があると考えるが、市長の考えは。

**市長** 現在の条例は美化促進重点地域として地域を限定しているが、全市域となると、今以上に強い姿勢での取り組み

みと同時に、市民の協力や意識の高さも求められてくる。他自治体の取り組みや、より実効性を担保する望ましい制度について検討したい。



高額な人工内耳の買い替え直ちに支援制度の創設を

自民党 横井 雄一

問 人工内耳の購入、手術について、初回は医療保険を適用することが出来るが、買い替え等の2回目以降は全て自己負担である。電池等消耗品の購入支援を含めた人工内耳の買い替え支援制度を直ちに つくるべきと考えるが、市長の見解は。

市長 交換、買い替えについては保険が適用されず、高額な自己負担が発生していることは、当事者からも伺った。必要不可欠なコミュニケーション手段を確保する観点からも、支援は非常に重要と認識している。各市の実施状況などを情報収集し、当事者の声も聞

き、電池も含めた給付制度を出来る限り早期に実施出来るよう前向きに検討したい。

増加する観光客 きたまちの住環境に配慮を

公明党 田畑日佐恵

問 旧奈良監獄保存活用事業により、市内外から多数の観光客が訪れている。また、きたまちエリアにも、歴史的建造物や文化遺産などがあり、更に多くの観光客が訪れることで、にぎわいが創出される一方、住環境面での懸念も増えてくるが、その対応は。



きたまちの旧奈良監獄(般若寺町)

観光経済部長 観光客が増え、トイレ不足やごみなどのマナーに関する懸念される

が、現在取り組んでいる、新奈良町にぎわい構想アクションプランに掲げる、おもてなし民間トイレの充実や、観光案内板などの設置を含め、観光客が回遊しやすい観光環境づくりを目指し、併せて住民が安心、安全に生活出来るマナー啓発なども進めていく。

登下校の見守り活動を行う 諸団体連携のための計画は

改革新政会 山出 哲史

問 見守り活動を行う団体による相互交流の機会づくりや関係団体の合同での研修会開催など、連携強化に向けた取り組みの具体的な計画は。

学校教育部長 登下校時における防犯対策の意見交換や調整を行う地域連携の場として、例えば、すでに取り組まれている椿井小学校の子育てネットワークや、六条小学校の六条校区地域安全会議など既存の組織を活性化したり、組織がない場合には、新たに構築したりしていく。

平成30年度内に、全ての小学校区で見守りボランティアの交流の機会が持てるよう、学校長や担当者を集めて、その方法などについて検討していく。

県流域下水道への負担金 市は過大負担の是正を

日本共産党 井上 昌弘

問 県流域下水道事業への市の過大な負担については、県が、本来繰り出すべき金額の割以下しか繰り出していないことによる。

四つある県浄化センターのうち三つで赤字が出ており、その分を市が負担させられていると思うが、今後、負担金の軽減について、県とどのよう な交渉をするか。

企業局長 負担金については、近いうちに県から流域下水道維持管理負担金の検討部会での意見を踏まえた改定案が示される予定である。

その改定案が、市、市議会の要望を反映したものとなるよう機会を捉えて、県に対して要望活動を続けていく決意である。

現場急行支援システム 導入のための協議を

新風政和会 三橋 和史

との事故が発生している。現場急行支援システム(FASIT)の導入により、緊急車両の赤信号交差点進入時の徐行による通過時間の延伸の解消や現場到着時間の短縮、交通事故の防止などの成果が期待される。

県警との協議を推進すべきではないか。

消防局長 現場急行支援システムについては、消防局消防課と県警交通規制課との事前の担当課レベルでの情報交換及び協議を開始しようというところである。

庁舎計画、地域力強化等 一体的な検討が必要では

無所属 松下 幸治

問 職員数を半減させ、年中無休で開庁する半週労働制等を奨励すると、市役所は現在の2割程度の空間で十分であり、市民活動の拠点となるなど様々な活用が出来る。庁舎、出張所改革、地域力強化を一体的にどう進めていくか。

市長 市の出張所改革は、市役所本庁舎でなくとも、近隣の出張所等で手続きが出来るということだが、いずれは在宅からという未来志向の行政運営を目指したい。様々な活

性化策を講じて、地域力を高め、地域で出来ることは極力地域にお願いすることが重要と考える。公共の担い手という議論の中では、そういった地域制度も検討していくべき施策を含むと考える。

**平城西中学校区の統合再編  
その意義は**

自民党 山本 憲宥

**問** 教育委員会は、平城西中学校区の統合再編計画について、平成33年4月の開校を目指すとの方向性を示しているが、統合再編の意義は。



統合再編が計画されている神功小と右京小

**教育総務部長** 学校では、単に教科等の知識や技能の習得だけでなく、集団の中で互いに高め合い、思考力や判断力、

表現力などを育み、社会性や規範意識を身に付けることが重要となる。そのためには、発達段階に応じた一定規模の集団で複数のクラスを確保し、それに伴うバランスのとれた教職員の配置が必要である。両小学校の中央に位置する平城西中学校の敷地内で小中一貫教育校として適正な学校規模とし、児童生徒の教育環境の改善を図る必要がある。

**要介護認定者数の増加  
体制の整備を**

公明党 九里 雄二

**問** 介護認定は高齢化が進む中で大きな課題の一つとなっている。多くの高齢者から、認定に要する時間が長い等の声を聞くが、認定にかかる日数や業務体制について、現状と今後の取り組みは。

**福祉部長** 申請から認定までに日数を要する理由として、認定審査待ちや主治医意見書、認定調査票の遅れがある。審査会待ちは開催回数を増やすことでほぼ解消出来た。主治医意見書、認定調査票の遅れについては、医療機関への督促、認定調査員の増員を図ったが、十分とは言えない状況である。

今後も認定調査員の安定的な確保に努め、医療機関に提出期限の遵守を求めている。

**森林環境税創設  
林業の課題と方針は**

革新新政会 鍵田美智子

**問** 市町村の森林整備などの財源として森林環境税の創設が予定され、それに先駆け、平成31年度から森林環境譲与税の譲与と森林経営管理法が施行されるが、現状の問題点、課題、今後の方針は。

**観光経済部長** 放置林や所有者不明の森林の増加、次世代の森林施業者の不足などが問題点として考える。

仮称森林環境譲与税を財源とする森林経営管理制度は、森林所有者と意欲と能力のある森林経営者をつなぐシステムを構築することで、林業経営者に森林を集約して放置林の解消を図るものである。

今後は、制度の構築、施業者の育成を進めながら森林環境の適正化を目指したい。

**聴覚障がい者への災害情報  
どう伝えるのか**

日本共産党 山口 裕司

**問** 聴覚障がい者は災害時、

防災無線等の音が聞こえない。災害時における情報保障についてどう考えるのか。

**危機管理監** 有効な手段として、まず、携帯電話のバイブレーション機能等で発災を知らせ、文字により情報の伝達を行うエリアメールがある。

次に、同報系防災行政無線に連動してその内容を表示するホームページ等があり、システムに市町村が避難所開設情報等を入力すると、情報はメディアに共有され、テレビの災害情報字幕として市民に情報提供される県防災情報システムも有効と考える。

複数の情報伝達手段を用い、災害時に迅速に避難出来るよう体制づくりに努めている。

**有用な防災倉庫  
煩雑な設置手続きの改善を  
無所属 植村 佳史**

**問** 防災倉庫を公園に設置する際、危機管理課、公園緑地課、景観課、建築指導課などにまたがり、設置手続きが複雑である。相談窓口の一元化や簡略化、専門的な資料作成や費用がかさむ建築確認申請の指導、代行をすべきと考えるが、市長の考えは。

**市長** それぞれの関係法令に

照らして適正に手続きを行って頂くためだが、費用や手続きの煩雑さについては改善を求める声をたくさん頂いている。平成31年度から設置費用等の減免が出来るよう調整を進めるとともに、建築確認申請の手続き等について、申請者の負担を少なく出来るよう、市内部で関係課が調整して手続きの支援をしたい。

**市税の徴収  
生活困窮者への配慮は**

革新新政会 阪本美知子

**問** 現年と滞納繰越を含めた市税の収納率は、平成29年度決算で96・77%であるが、中核市平均の97%を目指すところ。

差し押さえを強化していくようであるが、市民の生活を壊してまで回収するのは本末転倒である。滞納している生活困窮者への配慮はどのように行うのか。

**財務部長** 市税を滞納されている生活困窮者に配慮した徴収については、市税の納税相談時において、丁寧聞き取りを行い、納税者の相談内容に応じて、徴収猶予制度の説明や、最低限の生活が維持出来るよう配慮することで、納

税の折衝を行っていると  
ある。

### クリーンセンター広域化 周辺施設の整備は

無所属 酒井 孝江

**問** 迷惑施設とされるクリーンセンターだが、他市では体育公園施設等の周辺整備をしている。市は広域化を検討しているが、周辺整備を考えて、喜ばれる施設にしては。

**市長** 最近のクリーンセンターは、エネルギー回収拠点として、ごみ焼却時の熱利用で、ごみ発電や温水の提供などの資源循環が図られ、体育施設など周辺の公共施設等に電力や温水を供給している例が多く見られ、災害時の防災拠点として活用する例もある。

ごみ処理施設は、地域のまちづくりの核となる施設として活用することが必要だが、周辺の皆様の意見を伺い、共に考える姿勢が重要と認識している。

### 猿沢池周辺のまちづくり 道路と駐車場用地の計画は

無所属 松石 聖一

**問** 鶴福院町の道路拡幅問題で、地域では勉強会が開かれ

た後、測量を実施し、影響範囲も明らかになったが、まちづくりの方向性が見えてこない。

多くの観光客が期待される中、道路拡幅とならまち駐車場用地の利用の考えは。

**市長** 猿沢池は、猿沢池とならまちをつなぐ重要な道路であり、観光客の増加も想定されることから、歩行者の安全性向上についても地域と共に考え、周辺の今後の具体的なビジョンに盛り込みたい。

ならまち駐車場は利用者が減少していることから、駐車場として運営している市有地を民間活力により新たなにぎわいの拠点として整備していくことを考えている。

### 市民環境委員会

請願第5号の審査のため12月7日・13日の2日間、市民環境委員会を開催しました。7日の委員会では、運営協議と請願者の参考人招致について諮りました。

また、13日の委員会では、請願紹介議員の趣旨説明、質疑に続き、請願者の意見陳述について諮った後、採決を行い、請願を不採択とすべきものと決しました。

### 補正予算等特別委員会

委員長	道端 孝治
副委員長	早田 哲朗
委員	松下 幸治
	階戸 幸一
	横井 雄一
	北村 拓哉
	八尾 俊宏
	内藤 智司
	藤田 幸代
	松石 聖一
	井上 昌弘
	中西 吉日出

この定例会では、12人の委員で構成する補正予算等特別委員会を設置して平成30年度補正予算等を審査することとしました。

補正予算等特別委員会は、12月6日に正副委員長の互選、資料要求、10日・11日・12日に質疑を行い、委員会に付託された議案39件、請願3件を慎重に審査しました。採決の結果、議案についてそれぞれ原案どおり可決、承認すべきものと決し、請願3件は不採択とすべきものと決しました。

ここでは、質疑のあった項目のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

#### 議案第103号

● 判決が確定した場合の将来負担額

#### 議案第104号

● 臨時特例交付金と市の負担額

● 来夏までのエアコン設置が可能な入札時期

#### 議案第109号

● 踏切付近の漏水工事の安全確保と住民への周知

#### 議案第111号

● 部長ポスト減少による人材の減少と逸失利益

● 組織改正の検証

● 新組織による課題対応

● 課長や係長の育成のための体制整備

● 組織変更の課題と狙い

#### 議案第113号、 請願第6〜8号

● 経営管理組織の構築と係長の管理職化

● 市と近隣市とのごみ処理原価の比較

● 事業系ごみの実態調査

● 市が事業系ごみを収集することの条例化

● 持ち込みごみ搬入の現状、対策と今後の課題

#### 議案第114号

● 越境ごみへの対応

#### 議案第120号

● 個人情報流出の危険排除と守秘義務

#### 議案第142号

● 患者負担金の減免と徴収猶予の対象者

● 処分説明書の誤った教示

● 事件当時の担当部次長の報告内容

● 在職中の不祥事に対する退職者の退職金一部返還



### 松岡克彦議員逝去

松岡克彦議員（64歳、あやめ池南七丁目）は、平成30年12月17日逝去されました。

同氏は平成11年に初当選され、通算5期17年間に厚生委員長、建設委員長などを歴任されました。

## 議会の情報

### 会派の異動

平成30年11月20日付けで松下幸治議員が新風政和会を退会されました。

同日付けで林政行議員、三橋和史議員が新風政和会に入会されました。

これらにより、会派構成は次のとおりになりました。  
自民党奈良市議会9人、公明党奈良市議会議員団7人、改革新議会7人、日本共産党奈良市議会議員団5

人、新風政和会4人、無所属6人

### 請願

今定例会で新たに提出された請願書は次のとおりです。

▽新斎苑用地埋設の有害産業廃棄物への安全対策が示されるまでは掘削工事に反対する請願書  
請願者 白毫寺町耕地方総代

中尾 吉秀氏  
他2水利組合  
(市民環境委員会に付託・不採択)

▽議案第113号奈良市一般廃棄物処理手数料等の値上げに関する条例改正に反対する請願書  
請願者 奈良市飲食店組合組合長

増井 義久氏  
他1人  
(補正予算等特別委員会に付託・不採択)

▽議案第113号奈良市一般廃棄物処理手数料等の値上げに関する条例改正に反対する請願書  
請願者 奈良市食品衛生協会会長

吉本 雅一氏  
(補正予算等特別委員会に付託・不採択)

▽議案第113号奈良市一般廃棄物処理手数料等の値上げに関する条例改正に反対する請願書  
請願者 奈良市浴場組合組合長

大西 弘一氏  
(補正予算等特別委員会に付託・不採択)

▽議案第113号奈良市一般廃棄物処理手数料等の値上げに関する条例改正に反対する請願書  
請願者 奈良県美容業生活衛生同業組合・奈良支部支部長

岩見 吉記氏  
(不採択)

## 市議会の一年（平成30年）

### 定例会の会期は延べ85日間

平成30年は、次のように定例会が4回開催されました。

会議名	会期
3月定例会	2月28日～3月27日 28日間
6月定例会	6月11日～6月28日 18日間
9月定例会	9月3日～9月21日 19日間
12月定例会	11月29日～12月18日 20日間

### 質疑・一般質問に105人

質疑・一般質問には延べ105人（うち代表質問23人）の議員が議案及び市政全般にわたる項目について質問し、議論が行われました。

### 議案142件、諮問5件等を審議

この1年間に市長から議案142件、諮問5件、報告81件が提出され、審議の結果、原案可決120件、修正可決1件、原案承認2件、撤回承

認2件、原案同意21件、諮問のとおり返申する1件、報告67件、認定14件となりました。

また、議員が提出した議案は3件で、原案可決2件、1件を総務委員会に付託しました。

この他、議会選挙が3件ありました。

### 意見書5件

本会議で可決した意見書は5件でした。

### 請願6件

提出された請願書は6件です。そのうち5件は不採択となり、1件は観光文教委員会に付託し、審査中です。

### 陳情6件

提出された陳情は6件でした。

### 傍聴者は107人

本会議を傍聴された方は、3月定例会40人、6月定例会25人、9月定例会22人、12月定例会20人でした。

# 議案等の議決結果とその賛否（12月定例会）

○：賛成 ×：反対

件名	議決結果	会派名（一部略称）					無所属						
		自 民 党	公 明 党	改 革 新 政 会	日 本 共 産 党	新 風 政 和 会	松 下 幸 治	大 西 淳 文	酒 井 孝 江	植 村 佳 史	三 浦 教 次	松 石 聖 一	
<b>◆ 議案</b>													
予算	平成30年度一般会計補正予算	可決	全会一致										
	〃 国民健康保険特別会計補正予算 他3特別会計補正予算	可決	全会一致										
	〃 水道事業会計補正予算 他1公営企業会計補正予算	可決	全会一致										
条例	行政組織条例の一部改正	可決	全会一致										
	月ヶ瀬福祉センター条例の一部改正	可決	全会一致										
	廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○
	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
	地域ふれあい会館条例の一部改正	可決	全会一致										
	地区計画形態意匠条例の一部改正	可決	全会一致										
	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	病院事業の設置等に関する条例の一部改正	可決	全会一致										
	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
その他	市長専決処分の報告及び承認を求めること	承認	全会一致										
	公の施設の指定管理者の指定（入江泰吉旧居 他19件）	可決	全会一致										
人事案件	固定資産評価員の選任（西谷 忠雄氏）	同意	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	
	人権擁護委員の候補者の推薦（堀 英則氏）	同意	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	
<b>◆ 議会議案</b>													
職員の退職手当に関する条例及び企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正		総務委員会付託・閉会中審査											
<b>◆ 議会選挙</b>													
神野山組合議会議員の選挙		指名推薦により、浦窪賢司氏、高倉良一氏 当選											
<b>◆ 動議</b>													
臓器移植の環境整備を求める意見書		可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	

※ 賛成5 欠席1

（会派所属議員名）平成30年12月18日現在

会派名	議員数	所属議員名
自民党奈良市議会	9	土田 敏朗 道端 孝治 山本 憲有 太田 晃司 横井 雄一 八尾 俊宏 東久保耕也 森田 一成 北 良晃
公明党奈良市議会議員団	7	宮池 明 早田 哲朗 藤田 幸代 田畑日佐恵 九里 雄二 伊藤 剛 森岡 弘之
革新新政会	7	階戸 幸一 樋口清二郎 山出 哲史 阪本美知子 柿本 元気 内藤 智司 鍵田美智子
日本共産党奈良市会議員団	5	山口 裕司 山本 直子 白川健太郎 北村 拓哉 井上 昌弘
新風政和会	4	塚本 勝 林 政行 三橋 和史 中西吉日出

